

人づくり、組織づくりを通して、病院づくり

理事長 貞方 洋子

平成24年の一年間を振り返って、南風病院の“いま”をお届けする前に、この一年間の人づくり、“組織づくり”についてご報告致します。

武田信玄の言葉に「人は城、人は石垣、人は堀」という名言があります。病院に置き換えて言えば、ひとりひとりの力が結集してこそ、発展も健全経営も実現されます。

南風病院ではここ数年、特に組織のミドルマネージャーである主任、師長、課長、部長を対象に宿泊研修を実施してきました。研修会では、世の中の流れを知り、病院の現状を探り、そして、みんなで南風病院の将来を語り合い、上下、部門、部署の垣根を越えて親睦を深めてきました。その甲斐があつてか、「人にやさしく あたたく」をモットーに“響働”が起こり、組織としての絆もより強くなったと自負しています。

また昨年は院長をはじめ、看護部長、事務長のトップマネジメント3役が相次いで交代しました。今日の南風病院を築いていただいた前院長、西俣寛人先生の後任には、南九州病院の前院長、福永秀敏先生をお招きしました。看護部長と事務長には南風病院を永年支えてくれた日高香代子師長、江藤貢医事課長が就任しました。西俣先生にはそのまま名誉院長として、後進の指導に尽力いただいております。

これからも新体制のもと、スタッフ一同、地域医療支援病院として、また、地域に求められる、地域のための急性期病院として、確かな、信頼される病院を目指して一層の精進をしままいります。今後ともご高配とご鞭撻を承りますように、心よりお願い申し上げます。



Nanpuh Hospital